

シーグラフィア2025で大規模ブース出展

プラチナスポンサーとして協賛

低重力感覚のVRシミュレータ 月面走行と宇宙建設を体験



フォーラムエイトは、展示会場入口に近い絶好の位置にブースを設置した。2台のシミュレータが来場者の関心を集めていた



アジア有数のCGと対話型技術の学会・展示会として知られる「SIGGRAPH Asia 2025 (以下、シーグラフィア2025)」(主催:米ACM SIGGRAPH)が、2025年12月15-18日の4日間、香港コンベンション・アンド・エキシビション・センター(HKCEC)で開催された。フォーラムエイトは、シーグラフィア2025のプラチナスポンサーとしてシーグラフィア2025を支援すると共に、展示会場に大規模なブースを設営した。

CG統合ソフトやAI応用も

感覚フィードバック技術を披露

シーグラフィア2025は、千の研究者が集まり研究学会として北米で開催されるシーグラフィアと同格で、論文審査の基準も変わらない。会期中に発表される全論文が紹介される「ファスト・フォローアップ(早送り)」には、数千の論文が紹介される。

千の研究者が集まり研究学会として北米で開催されるシーグラフィアと同格で、論文審査の基準も変わらない。会期中に発表される全論文が紹介される「ファスト・フォローアップ(早送り)」には、数千の論文が紹介される。

今回のCG中心のイベントであるため、同社が扱うCG統合ソフトウェア「Shade3D」も温度感覚などが状況に合わせた技術も展示された。VRシミュレータを使用した様子も披露された。

香港の場合、ブースへの来訪者は、必ずしも英語が堪能とは限らない模様だった。そのような場合は、同社の中国語話者の社員が対応し、丁寧に説明していた。

フォーラムエイトは、HKCEC内で開催された交流会「ジャパンナイト」にもスポンサーとして支援した。午後6時から開催されたジャパンナイトは、画像情報教育振興協会(CG-ARTS)が主催。ここ数年途絶えていたが、フォーラムエイトの支援を得て再開された。

直前の午後5時半からは同じ会場内でCGアーティストの河口洋一郎氏が主催する「サケ(酒)パーティー」が開かれた。サケパーティーでフラクタルアートを鑑賞した後、ジャパンナイトを訪れる流れができていた。

2つの日本関係のイベントが連続して催されることとあって、世界の多くのCG関係者が集まった。ジャパンナイト会場には、シーグラフィア2025の実行委員長である幸村琢教授(香港大学)をはじめとする運営メンバーや、諮問委員会のメンバーなど、シーグラフィア2025の中枢メンバーが集結していた。

フォーラムエイトが支援するイベントのもと、CG界の重要メンバーが集まったことは意義深い。

月面を再現した展示とみられる。後者は、建設用重機を操作する。シークラフアジアの来場者は若い世代が多く、



月面での重機操縦シミュレータ。こちらも来場者は低重力に苦労しながらも楽しんでいた



大阪・関西万博でも展示した月面車操縦シミュレータは人気を博した。来場者は低重力での車両挙動を体感した



画像情報教育振興協会が12月17日に開いた交流会「Japan Night」は、フォーラムエイトの支援で開催にこぎ着けた



フォーラムエイトは、SIGGRAPH Asia 2025のプラチナ(最上位)スポンサーとして、イベントの実施を支援した

「ジャパンナイト」再開を支援 CGアーティスト交流の場に貢献

フォーラムエイトは、展示会場入口に近い絶好の位置にブースを設置した。2台のシミュレータが来場者の関心を集めていた